

## 第2回千早赤阪村庁舎建設検討委員会会議録（要旨）

日 時 平成25年12月9日（月） 午後3時～午後4時43分  
場 所 くすのきホール 2階 第2会議室  
出席者 磯崎委員長、仲野副委員長、清井委員、田中委員、豊田委員、西野委員、服部委員、矢倉委員  
欠席者 阪辻委員  
事務局 松山副村長  
松村理事  
総務課：森田課長、日谷課長代理  
傍聴者 2名  
会議概要 開会  
1. 議事  
(1) 庁舎建設の必要性について  
(2) 新庁舎建設の基本理念と方向性、新庁舎の基本的機能について  
(3) 新庁舎の規模について  
(4) 新庁舎の建設候補地について  
閉会

### 【議事要旨】

#### 1. 議事

##### (1) 庁舎建設の必要性について

※事務局より説明を行い、委員から次のとおり意見等がありました。

(矢倉委員)

事務局の方にお聞きしたい。事前配付資料の強度結果の値が $13.5\text{ N/mm}^2$ で、本日頂いた資料では $12.8\text{ N/mm}^2$ とあるが、これは測定した日が2日あるからですか。

(事務局：日谷課長代理)

調査日は11月5日に全箇所で行いました。調査結果では、1階が $12.8\text{ N/mm}^2$ 、2階が $21.44\text{ N/mm}^2$ という数値になっています。 $13.5\text{ N/mm}^2$ は調査結果ではなく、基準値が $13.5\text{ N/mm}^2$ 以上あれば望ましいということです。

##### (2) 新庁舎建設の基本理念と方向性、新庁舎の基本的機能について

※事務局より説明を行い、委員から次のとおり意見等がありました。

(清井委員)

基本理念3で「住民にやさしい開かれた元気な庁舎」とあり、①に村の総合的な情報発信拠点、きめ細かな行政情報を発信しますとあるが、情報関係はいわゆるソフトの部分であり、現在はできないが庁舎を新築すれば新たに取り組める具体的な話があるのですか。

(事務局：森田課長)

現行の庁舎内には情報公開コーナーを設けているが、座って見てもらえるようなロビー部分もないことから、住民が集まり自由に使っていただけるようなスペースをとり、その中で村の施策情報やサービス情報、観光情報などを発信できるようなイメージを持っています。

(3) 新庁舎の規模について

※事務局より説明を行い、委員から次のとおり意見等がありました。

(服部委員)

総務省の地方債を充てることができるというのは、基準の面積をクリアした場合のみ地方債を発行されるのですか。基準値未満の場合、地方債は認められないのですか。

(事務局：松村理事)

起債については色々な基準があり具体的には詰めていないが、通常は、示されている数値の部分は起債対象になり、それ以外の部分は村費になります。すべてが対象外になるのではなく、示された基準の数値の面積分は起債が認められるということです。

(西野委員)

資料にある職員数77名は、正職員のみですか。

(事務局：森田課長)

正職員のみです。

(仲野委員)

アルバイトなどを含めたすべての職員数は何人になるのですか。

(事務局：森田課長)

約90人です。

(事務局：松山副村長)

非常勤の方は事業の取組みにより増減するので、今回資料では見込んでいませんが、

現庁舎の延床面積1,673㎡の中で非常勤職員のスペースも確保しているので、新庁舎の規模3,000㎡でカバーできであろうと想定しています。

(矢倉委員)

千早赤阪村にやさしい、また林業を活かしたということで、個人的に木造を発想したが、3,000㎡で3階建てということだが、事務局ではそういった内容までは考えていないのですか。

(事務局：森田課長)

村長は村の木材を使用したいという思いを持たれています。木造となれば、千早赤阪村産の木材を使用できればと事務局としても持っていますが、主体構造部が木造なのか、RCなのかはまだ何も決めていません。

(矢倉委員)

どの構造にしても3階建てということですか。

(事務局：森田課長)

現在の面積規模でいくとなると3階建てのイメージを持っています。

(磯崎委員長)

現庁舎は1,673㎡ということで基準と比べると半分ほどで狭隘であるが、財政状況などもあるので、これから設計等で規模を決めていかれると思うが、3,000㎡にはこだわっていないのですね。極端に言えば1,673～3,000㎡といったところでよろしいでしょうか。

(事務局)

そうです。

(田中委員)

地下部分は考えられていないのですか。

(事務局：松村理事)

場所の問題もあり、面積上、2階になる可能性もありますが、地下となると費用も高くなると思いますので、今のところ想定はしていません。

(服部委員)

来庁者、公用車駐車場、900㎡約50台となっているが、この数値の算定はどのようにされたのですか。職員用何台、来庁者用何台といったものはわかりますか。

(事務局：日谷課長代理)

現在、公用車22台、来庁者スペース20台それに概算だが10台程度加えて来庁者を30台と想定しました。職員用はスペースがないので、見込めていません。

(事務局：松村理事)

職員は個人で他の場所を借りており、役場敷地内には置いていません。

(服部委員)

新庁舎の検討の中では、職員の駐車場は除くということですか。

(事務局：松村理事)

他自治体でも職員用駐車場は、個人は職員組合などで借りており、本村でも同様の扱いです。

(西野委員)

平時は職員用駐車場として、災害等の場合、活用できるようなスペースが必要ではないでしょうか。

(事務局：松村理事)

オープンスペースの緑地として、約500㎡とっており、そういった対応が可能だと思います。

(事務局：森田課長)

敷地については、広い方が何かと良いが、現在の想定規模からいくと、この程度が下限にあたるのかと思います。災害時などで活用するにあたり広いことに越したことはないですが。

(西野委員)

木造3階建ては建築基準法で問題はないのですか。

(事務局：森田課長)

木造3階で庁舎建設されているところもあります。ただ、我々も専門家でないので、わかりませんが、制約は出てくるかと思っています。

(磯崎委員長)

3階建てになれば、2階建てより維持管理やメンテナンス費用などのコストが上がってきます。そういったところも踏まえ、これから検討していかねばならない。用地買収が安く済めば敷地を広げ、また都市部のように地価が高いところは高層階にして

いるが、できるだけ敷地を広げ、階層を抑えるなども検討しないとイケない。

(豊田委員)

村として有山村であり、木造にしたい考えはわかるが、木材の使い方は見せ方であり、効果的にすれば良く、強度で言えばやはり、将来的に考えても強くはないので、具体的に検討が進めば、もっと話が詰まってくると思うので、そういった木材の見せ方も検討していければと思います。

(事務局：日谷課長代理)

いきいきサロンくすのきは中に入ると材木の見た目の良さがでています。庁舎も具体的に話が進めば、そういった見せ方も検討していければと思います。

#### (4) 新庁舎の建設候補地について

※事務局より説明を行い、委員から次のとおり意見等がありました。

(豊田委員)

この比較検討の点数は専門家の評価ですか。

(事務局：森田課長)

事務局の評価です。

(服部委員)

5段階で評価され、◎○△▲と、トータル評価点があるが、記号は各々何点ですか。・・・記載されていまして。わかりました。

(田中委員)

道路が何より大切だと思う。大型観光バスが行き来できる道路がある場所をお願いする。

(西野委員)

道幅やアクセスのメリット、デメリットがあるが、将来のむらづくりの展望を考えた場合、狭い場所で防災面も含め、どれだけ絵を描けるか、将来どこかと合併したとしても、地域の拠点となるような考慮をすべきだと思います。そのためには、広い土地、スペースがあるところを重点的に検討すべきだと思います。

(清井委員)

経済性のところで、評価基準の話があったが、点数のウェイトとしてこれが適切なのか疑問があります。例えば、仮庁舎や既存建物の撤去費用などかなり大きくなる。くすのきホールでも既存建物を壊す必要性の有無などそういった話が出てくると思

いますが。

(事務局：森田課長)

あくまでも目安ということで、また評価も職員でしているので、ご指摘のとおりのことがあるかと思います。あくまでも目安ということで、お考えいただき、ご検討ご意見いただければと思います。

(矢倉委員)

どうしても点数が出てしまうと、決まったようなものではないでしょうか。点数をつけるとすれば、最初に説明された理念、例えば景観面など、そういったことはこの評価には表れていない。知らない人が見れば点数が一番良いのを選ばれるので、点数はどうなのかと。我々委員が見るにあたっては見やすいのだが。会議に出られていない一般の方が見ると点数が高いところが一番だと思う。

そうでなく、理念に書かれていることを吟味した方がこの点数はもっと変わってくるのではないのでしょうか。

(西野委員)

ランニングコストについて、3階建てとすればEVがいると今後のメンテナンス費用がかかってくる。2階建てにすればEVはいらず、ランニングコストが不要になる。

(事務局：森田課長)

EVについては、現在でも障がい者の方に不便となっており、誰にでも優しい庁舎として、2階であってもEVは必要であると考えています。

(服部委員)

これからこの検討委員会で検討していくが、会議回数が増えるにつれ、具体的な項目について討議を重ねていくと思うが、その場合に、今の様々な意見に対し、事務局の体制として、2人だけで対応できるのか。庁舎検討の結論を出すまでの間、ある程度期間が決められているので、専門的な庁舎建設準備室といったような、専門的な職員を2～3名配置し、あらゆる想定を考え、資料作りや現地調査を行うなどをされたほうが良いのではと思いますが、そういった検討はされるのですか。

(事務局：森田課長)

役場内には公共施設のあり方検討委員会を設けており、資料の中身等をチェックし、検討委員会に提出しています。ただ、役場職員であり、専門性はありません。

(事務局：松山副村長)

現在の職員数77名の配置の中で、新庁舎担当に他から2～3名減らして、準備室

を作るということは、現段階では難しい。どこかを減らすとそこの事務処理が回らなくなりしますので。前回会議でコンサルに丸投げするののかという意見がありましたが、基本的にはできるだけ職員で資料を作り、委員のみなさんの意見を伺い、今日に決定するわけではないので、次の会議の資料を作成し、委員のみなさんに諮っていくということになります。どうしても専門的な資料については、議会に諮り、予算をつけ、外注することを考えていきたいと思います。

委員皆さんの意見を聞くことが本日の趣旨です。

(磯崎委員長)

一番重要なのは財政状況がどこまでいけるのかであるが、資料の内容は理想的なものを記載している。予算上、どこまで実現できるのか。財政状況がマイナスになるようなことは避けていただきたい。コスト、規模、位置の問題についても、どれだけ有効なものに持っていか。

資料は文面だけだが、費用をこの場所だったらいくらかかるのかを示していただければ、わかりやすい。文化財発掘調査などそういったコストもでてくる。

計画の経済性をうたっているが、この資料のようなものではなく、また、場所が変われば職員駐車場の問題も出てくるでしょうし、そういったところも考えていただきたい。

(事務局：森田課長)

用地として新たな取得は除いて、現有の村有地の中で、どういった検討ができるかとなると、この3案くらいになるのかと思います。

(豊田委員)

新庁舎建設の機会は今後ないと思われるが、現庁舎ではこういった問題が起こっており、くすのきホール周辺となれば、景観含め利用価値がある。そういった面では、こういった場所での建設を考えていただければと思います。

(西野委員)

50年先を見なくとも、20年、30年先の地域づくりを考えた場合、やはり広いスペースが良いと思う。ここ2～3年だけの経済効果だけではなしに。

村長が1箇所にとどめるという選挙公約で民意を得ているわけですから、そういったところも考慮すべきだと思う。

(事務局：森田課長)

全課がワンストップになるということで、3,000㎡必要であると説明させていただいています。

(磯崎委員長)

建物を1階で造るのと、2階、3階にするではコストが全く違う。用地買収費とメンテナンス費用もコストダウンしていくことも設計の段階で考えていかないといけない。将来性を考えたものを。

(服部委員)

事務局ではどれくらいの費用を上限と考えているのか。それによって、削るものなどを考えていかないといけないと思います。

(事務局：森田課長)

まだ金額的には一切はじいていないので、想定していません。この検討委員会で意見を聞きながら、進めていこうと思っているが、ただ、税金等があるわけでもないので、できる限り、低コストで、皆さんの意見を聞いて、村産木材を使えればというイメージを持っています。

ただ、具体的にはじくと、場所もそうですし、既存建物の取り壊し費用などもある程度は出てくると思いますので、まずは場所も決まっていな中で、資料を見ていただき、検討いただくということで、費用面は今後ある程度はお示しできるのかなと考えています。

(服部委員)

場所等をいくら議論しても、この検討委員会で結論が出ても、実際それならば、財布の中身はどうなのか、いけるのか、自己財源や起債、補助などはどうなのか、そのあたりをやはり考えてもらった方が良いのかと、できたら先にさせていただいたら、それに見合った考えで設計も含めて、色々なことを考えられるのではないかと思います。

(西野委員)

ある程度でも出してもらった方が、幅もたしてでも。

(矢倉委員)

新庁舎に対しては、今までで一番大きな買い物をする可能性があるが、その中で人口がだんだん減ってきており、このことを考えると増えることは難しい中で、村に住みたいと考えている市内の方が来られたとき、千早赤阪村にはこういう庁舎があるのだというような村らしい庁舎を建てることを事務局の目標としていると思うが、建てるのであれば村外の方も来庁されて、千早赤阪村にも良い庁舎があるのだなと予算のこともあるが、同じお金をかけるのであれば、低コストで他の市と違う庁舎だなというのを目指していただきたい。

それを含めたら、村に住んでいる子ども達も村にこんな庁舎があるなら、村を出て



いかずに住もうという子も増えるかもしれないし、遠足などで村外から来た子どもは、村にあんな良い庁舎があったなど、心に残るような他の自治体と違うようなものを、第一にはコストではあるが。

(事務局：森田課長)

一般的な庁舎建設で他事例を見ていると、鉄筋コンクリート造りが一番安価で、平均16.5万円/㎡が単価であります。想定している3,000㎡にかけたとして4億9,500万円という数字が出てきます。建物だけです。

(磯崎委員長)

木造で、ワンフロアでというような想定での算出はなく、鉄筋コンクリートだけですか。用地費がいくらになるのか。村の良さを出すのであればコンクリでは内装関係しか無理。木材を利用してというキャッチフレーズになるのであれば、どれくらい費用がかかるのか、概算で良いので、検討していただいて、加えてメンテナンス費用も比較できるようなものを出してもらいたい。

(西野委員)

民有地を一部定借で借りるなども考えられるのでは。

(事務局：松村理事)

できるかは別として、民有地を買うなども次の段階の話ではあります。面積が足りない場合は、購入や定借も考えられます。その場合の費用と、3階建てなどの設備費用・メンテナンス費用がかかる場合とを比較検討ということになっていくと思います。

(西野委員)

木造に対する補助金などはないのか。

(事務局：松村理事)

色々な補助金を見ているが、学校などはあるが庁舎のみは難しい。防災施設や学校などは国からの補助金と交付税を頂けるが、庁舎単独だと、起債はできても交付税は見ないというのが多い。現在、様々な補助金があるので、どれだけ対象になるのかを調べているところです。

(事務局：森田課長)

コミュニティの場や防災拠点を併設するなど、そういった部分であれば、補助もあるのですが。

(事務局：松山副村長)

庁舎でも防災拠点があるとなると、防災機能の部分は補助するが、一般的な庁舎部分はダメとなっている。

(事務局：松村理事)

所管が違うので、行けるかどうかわからないため、そのあたりを調べています。

(矢倉委員)

一つにするという目的であれば防災面も一緒にすれば良いのではないか。

(事務局：松村理事)

国の補助金の内容も同じ建屋だといけるか、分けないといけないのかもわからない状況です。

(西野委員)

3つの候補地のうち、道路進入路の問題で、もうここしかないのでは。道路の拡張なんてなかなかできないので、となると、この2案のうちどちらかになるのでは。

(事務局：松山副村長)

確かに道路は現庁舎より狭いです。事務局として3案を示しましたが、これら以外に他の候補地があるという意見があれば、検討の対象にしないといけない。我々が村有地の中で、使えるであろうというものを示しているが、他で土地を購入するのも一つの方法だという意見があるのであれば、検証の対象にしないといけないと思っています。

(磯崎委員長)

この3案に絞る必要はないのですかね？

(事務局：森田課長)

前回の予定では本日である程度ご意見をいただければと思っております。

(磯崎委員長)

そうしましたら、委員会として採決を取り、どれが良いか選定しないといけないのですか。将来性や景観などを考えると、現庁舎より、ホールの方が良いとは思いますが、ただ、森屋の住民、現庁舎近くの住民を納得させることは大変だと思います。

時間も押しているなので、この委員の中で決めましょうか。

(矢倉委員)

一つよろしいですか。仮に、現庁舎に建てるとなると、ホールは絶対に残さないと

いけないでしょ。しかし、ホールとなったら、現庁舎は撤去し、売却の可能性もあるんですね。でも、現庁舎となればホールは売却できないですね。もしもホールとなったら、残りの2案の場所は売却ということによろしいのですか。

(事務局：松村理事)

ホールに庁舎が行けば、現庁舎は必要でなくなるので。

(矢倉委員)

資金のために、売却の可能性もあると。現庁舎だとホールは売れないと。多数決を取るとなると、そういうことも考えないといけない。

(事務局：松村理事)

評価の点数の付け方もいろんな意見を踏まえると変わってくるのではないかと、庁舎がホールに来ると森屋の方が感情的になるという意見もありますが、ただ一番気にしているのが、現在のバス路線がホールに入ってくれるのか、ちょっとしんどいのではないかと思います。千早地区に行くバスが周ってホールに来ることは無理でしょう。

(西野委員)

赤字だと思うが、森屋行をひっぱってもらい、補填するなども。

(事務局：松村理事)

ホールがダメということではなく、事務局の思いとしては、上から降りてきた方が、役場に来るときに、歩くのは大変だし、かといって道をつけるには金額が掛かっています。

(西野委員)

河南町の場合、白木方面は一本だが、全部が全部一本で乗り換えずに行くことは無理だと思う。ほとんど今は車社会だし、コミュニティバスを充実させるなど買い物難民も含め、交通アクセスの整備、もちろん道も含め、どこに庁舎を造ってもアクセスの問題は増えてくる。5年、10年先を見れば必要になってくる。

(仲野委員)

個人的な意見だが、利便性は後々住民が利用するにあたり、利用しやすいところということも十分に考えないといけない。将来的にバスを引っ張って来れるのだという目標をもって進めていけばいいのだと思う。現庁舎の前にバス停があるので、上の方もバスを下りればすぐに庁舎に行ける、ホールの場合は、ここまで歩かないといけないということもあるので、そこらを踏まえた中で、検討する必要があるのではと思う。

(田中委員)

小吹台からは車があるからよいという意見があったが、現時点ではよいが、10年もすれば車に乗れなくなる。

(磯崎委員長)

そうになったらその時点で村にお願いしてシャトルバスを出していただければ良い。

(西野委員)

いきいきサロンも巡回バスがある。現在の65歳が36%いるが、これが10年もすれば車乗らない人がほとんどなので、足の問題は出てくる。

(仲野委員)

これらの意見を加味した中で候補地を選定しないといけない。

(事務局：森田課長)

今回頂いたご意見、現庁舎とくすのきホール、そして旧富田林高校の分校跡地については難しいのかなといった意見でしたが、次回現庁舎とくすのきホールで費用面も踏まえ、ある程度の形を示させていただきたいと思います。

評価の方法も今一度精査させていただき、できるだけ数値化させていただきます。あと、費用面は、解体が必要なのかも含め、また、木造なのかRCなのかも含め、ある程度の数値を示させていただき、次回、ご検討いただければと思います。

本日このままどちらか選んでくださいというのは乱暴な話でありますので。

(磯崎委員長)

もう一つだけお願いしたいのですが、職員の駐車場はどうにかできないものか。

(事務局：森田課長)

現状、ホール駐車場と、森屋の民有地をお借りし、交代制で停めています。毎月職員から費用負担をもらって運営しています。公共施設にあえて職員用駐車場を造るとするのは、どの役所でもほぼしていないと思います。

(西野委員)

ホールならばそういったスペースがあるが現庁舎だとそんなスペースもないでしょう。防災機能としても利用できる。

(事務局：森田課長)

今停めている職員は50人もいないと思います。バスの利用も多い。

(西野委員)

現庁舎では通勤の利便性をうたっていたが、ホールに停めて10分ほど歩いている。

(仲野委員)

先ほど委員長も言われたが、できれば西野委員が言われたように、総額の上限を出していただいたほうが検討しやすい。村の財政規模だどこまでなら踏ん張れると。補助金を取ってくるからまだわからないというのもわかるが、村単独でここまでならというのを出してほしい。持ち出しがないのに、ここまでやってほしい等は言えない。

(事務局：松村理事)

一般財源について、村としてある程度これくらいは出せるというのは示さないといけないと思います。

(仲野委員)

起債を返済するにしても、これだけであれば村は返していけるというのを、夕張状態にならないというのを出してもらわないといけないと思います。

(磯崎委員長)

返済も何十年でなく、10年返済くらいで無理のないようにして。

(矢倉委員)

もしホールだと、残りの場所は売却の可能性もあると言っていたが、今の時価で良いので、売却額も示してもらいたい。

(事務局：日谷課長代理)

一步突っ込んだ議論になっているのでそこは後々考慮させていただきます。事務局としてもアイデアとしてはあります。

(事務局：森田課長)

では次回ある程度数値化させていただき、ご議論いただけるよう示させていただきます。

(磯崎委員長)

では、時間になりましたので、次回開催を平成26年1月17日(金)20日(月)21日(火)14時頃でお願いしたいのですが。

では、21日14時からということでお願いします。

(事務局：森田課長)

では、また開催案内をお送りします。また、第1回の議事録を公開するにあたり、修正等があればご連絡願います。